

100 トラフズク

(フクロウ目)

兵庫県ランク:B

Asio otus

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道、本州北部では夏鳥、本州中・南西部、四国、九州では冬鳥。兵庫県では主に11-翌3月に記録がある。平地から低山のよく繁った林に生息する。冬期は単独か小群で山麓の森や広い農耕地、河川敷の藪、竹林などで休み、夜になると農耕地でネズミ類やモグラ類、小鳥類などを捕食する。



写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州北部、本州中・南西部、佐渡、見島、四国、九州、対馬、屋久島、種子島、伊豆諸島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、南大東島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、尼崎市、(西宮市)、(洲本市)、(伊丹市)、豊岡市、(加古川市)、(小野市)、(播磨町)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

CランクからBランクに変更。
夜行性で観察が難しいため、記録は少ない。県内には繁殖記録はないが、1979年6月には小野市青野ヶ原で2羽が記録されている。現在は主に冬に北方からの移動個体が渡来するが、個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

河川敷周辺の採餌環境となる草地とともに、ねぐらとなる河畔林の保全が重要。